令和6年度　松本市立清水中学校　学校経営の方針（グランドデザイン）

生徒会フリートークから

清水中のよいところ

- 学年で団結するところ
- 昔から続いている伝統が今も続いているところ
- 掃除がきれいなところ
- 挨拶をしたら挨拶がかえってくるところ
- 音楽祭等の行事に全力なところ

改善すべきところ

- 生徒会活動への取り組み方に差がある
- 発言する人としない人の差が大きい
- 先に挨拶がないところ
- 下校が遅いところ
- 学年ホールなどで遊んでいる人がいる

学校教育目標「四本の柱」

すなおさ
若々しさ
たくましさ
ゆかしさ

めざす生徒

しみず
しっかり自律
みんなで協働
ずっと大事に恕の心

めざす学校

引き受け・引き出す学校

教師の心構え　チーム教育

① 生徒の尊厳、人格を尊重する
② 生徒の学習権を保障する
③ 全職員が教育の専門家として成長する

今年度の重点

表現力が育つ　～すべての活動を通して～

しっかり「自律」

1　学びの主役を生徒にする

- 「表現力」を『判断の根拠（理由）を添えて伝えることができる力』と捉え、記述や口述の際に根拠をもって表現ができるようにする。
- 毎日の家庭学習を振り返ることで学習調整力を育む。
- 守破離の思想を適応した家庭学習を実行する。

2　「清流の時間」を進化から深化へ

- 学年別テーマを1年「地域で学ぶ」、2年「地域と学ぶ」、3年「地域の一員になる」と設定し、探究的な学習をする。中高大連携の3つのカテゴリーをバランスよく進めていく。

みんなで「協働」

1　伝統を受け継ぐ別品活動

- 若々しくさわやかな挨拶を継承する。
- 校歌発表会、合唱交歓会、音楽祭を通しての美しい歌声を継承する
- 「無言・膝つき・二度がけ」の磨きあげる清掃を継承する。

2　生徒会活動

- 生徒集会や常時活動など合意形成を図る活動を通して、自治力・想像力を育み、主体性や社会性を養う。

3　部活動

- スポーツ文化活動の指針に沿って、活動日数・時間等の適正化を図り、目標を決めて活動する。

ずっと大事に「恕の心」

1「特別活動」の充実

- 安心できる仲間づくりを学級・学年・全校で取り組む。

2「道徳科」の充実

- ローテーション道徳を行い、教師も生徒もともに心を豊かにしていく。

3　地域を愛する心の醸成

- 1年は地域の魅力を再発見することで、愛郷心を育むとともに、探究の学び方を学ぶ。
- 2年は地域の方の働き方から、自分の生き方を考える。
- 3年は地域貢献で、社会の一員としての在り方を学ぶ。